

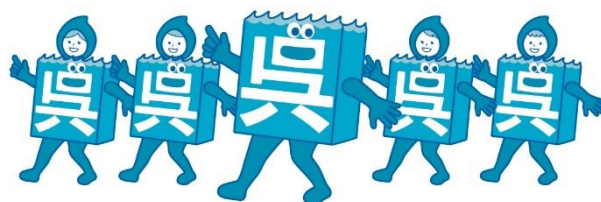
呉市住民自治組織あり方検討事例集

～これからの自治会運営のためのヒント～



2022（令和4）年3月

呉市住民自治組織あり方検討委員会



はじめに

近年、社会経済情勢の変化や価値観の多様化、また少子高齢化や人口減少が進行する中、地域においては様々な課題が顕在化しつつあります。

最近では、地震や風水害などの自然災害や子供や高齢者が被害者となる犯罪が多発しており、地域での支え合いや見守りなどを担っている地域コミュニティの重要性が高まっていますが、一方で自治会等の住民自治組織は、地域住民同士のつながりの希薄化や担い手不足などの課題を抱えています。

こうした背景を踏まえ、住民自治組織の課題となっている担い手不足や負担増等を解消するため、呉市では、令和2年度から「呉市住民自治組織あり方検討委員会」を設置し、自治会をはじめとする住民自治組織のあり方について検討してきました。

呉市住民自治組織あり方検討委員会での議論や、自治会の皆さまへの事例照会、市民の方とのワークショップなどを重ね、このたび「呉市住民自治組織あり方検討事例集～これからの自治会運営のためのヒント～」にまとめました。

自治会の活動に「これが正解」というものはなく、それぞれの地域特性や規模、状況に応じた活動が求められているのは言うまでもありません。また、他の自治会の取組や工夫を知ることで、自分たちの活動を見直すヒントにもなります。

本事例集が各自治会の活動の参考となれば幸いです。

呉市住民自治組織あり方検討委員会 委員一同

目 次

1	これからの自治会運営のためのヒント集『困りごとからの索引』	1
2	自治会の現状と課題	2
3	これからの自治会運営のためのヒント集	
(1)	自治会活動の意味を説明するためのヒント	6
(2)	誰もが参加しやすく持続可能な自治会となるためのヒント	10
(3)	自治会への入会を促す動機づけ・魅力づくりと自治会活動の有効的なPR方法のヒント	21
(4)	地域や時代の変化に対応する自治会運営のヒント	34
(5)	地域活性化につながる「魅力ある取組」や「好評であった行事」のご紹介	43
(6)	市内自治会の取組事例（これまでにご紹介した以外の事例）	46
4	呉市住民自治組織あり方検討委員会（委員名簿）	52

1 これからの自治会運営のためのヒント集『困りごとからの索引』

自治会の運営で、こんな困り事はありませんか？

自治会の運営で困った時は、それぞれのページのヒントや取組事例を参考にしてみてください。



☆ (1) 自治会活動の意味を説明するためのヒント

自治会に加入する意味を尋ねられて、説明の仕方に困っている

ア 自治会活動の意味をどう伝えるか..... 7



☆ (2) 誰もが参加しやすく持続可能な自治会となるためのヒント

自治会活動の担い手を増やすために、どうしたらいいか困っている

イ 自治会の負担を軽減するには..... 11

ウ 次の役員を見つけるには..... 13

エ ライフスタイルが多様化する中、自治会活動をするには..... 15

オ 定年退職した人に自治会活動へ参加してもらいたい..... 17

カ 若い世代・子育て世代に自治会活動へ参加してもらいたい..... 19



☆ (3) 自治会への入会を促す動機づけ・魅力づくりと自治会活動の有効的なPR方法のヒント

自治会の加入者を増やすために、どうしたらいいか困っている

キ 新しく引っ越してきた人に自治会に入会してもらいたい..... 22

ク 既に住んでいて入会していない人に自治会に入会してもらいたい..... 24

ケ マンションの住民に自治会に入会してもらいたい..... 26

コ 行事（イベント）などの参加者を増やしたい..... 29

サ 行事（イベント）などの有効的なPR方法を知りたい..... 31



☆ (4) 地域や時代の変化に対応する自治会運営のヒント

地域や時代の変化に応じた自治会運営をするために、どうしたらいいか困っている

シ 災害や犯罪に対しての不安が高まる中、防災・防犯活動を強化したい..... 35

ス 高齢化する地域で、高齢者の孤立・介護の問題に対応したい..... 37

セ インターネット・SNSの利用者が増えている状況に対応したい..... 39

ソ 地域で活発に活動している人や団体と連携を図りたい..... 41



☆ (5) 地域活性化につながる「魅力ある取組」や「好評であった行事」のご紹介

タ 自治会活動で「魅力ある取組」や「好評であった行事」を知りたい..... 44



☆ (6) 市内自治会の取組事例(これまでにご紹介した以外の事例) .. 46

2 自治会の現状と課題

(1) 自治会加入率

自治会加入率は、令和3年5月現在で68.5%であり、年々少しずつ減少しています。

一方で、連絡区加入率は年々増加傾向にあることから、新築のマンションやアパート等で自治会ではなく連絡区を結成する機会が多いことや、会員の減少等により自治会から連絡区へ移行する機会があること等が要因として考えられます。

自治会等加入率

年月	自治会				連絡区(※1)		
	自治会数	加入世帯数	住民基本台帳に基づく世帯	自治会加入率	連絡区数	加入世帯数	連絡区加入率
H29.5	448	79,922	111,593	71.6%	154	6,854	6.1%
H30.5	445	78,323	110,893	70.6%	158	7,097	6.4%
R1.5	444	77,064	110,596	69.7%	160	7,144	6.5%
R2.5	443	75,971	109,754	69.2%	166	7,323	6.7%
R3.5	439	74,393	108,557	68.5%	168	7,588	7.0%

(※1) 連絡区…自治会連合会に属さず、自治会活動を行わない地縁組織で市政たよりなど市からの連絡事項のみを共有する組織

※自治会等数及び加入世帯数は、自治会長名簿(各年5月現在)に記載の数

※住民基本台帳の世帯数は、各年5月末現在の数

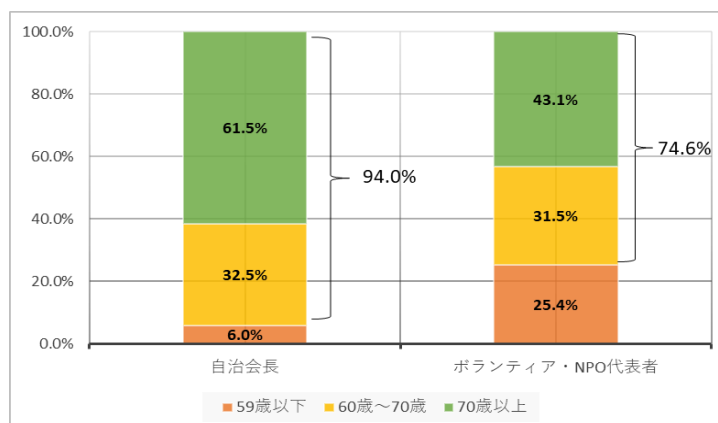
(2) 自治会アンケート調査結果 (平成30年度実施)

ア 自治会等の町内活動の実態

自治会長の61.5%が70歳代以上、60歳代以上は94.0%となっており、ボランティア・NPO団体代表者(70歳代以上は43.1%、60歳代以上は74.6%)と比較しても、担い手の高齢化が顕著となっています。

【出典：令和2年3月 第4次呉市市民協働推進基本計画】

▼団体代表の年齢

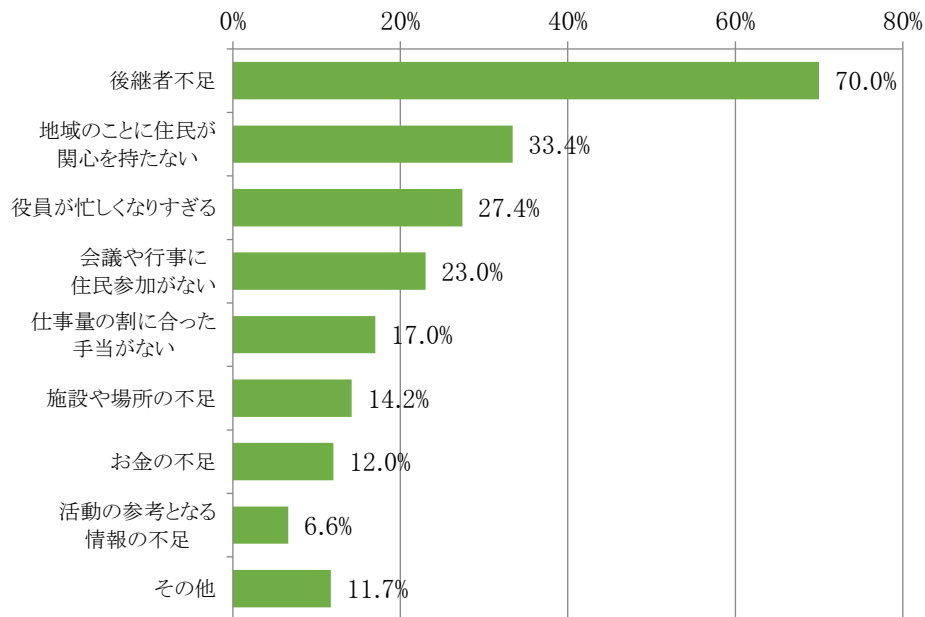


イ 自治会が抱える問題

自治会が抱える課題について尋ねたところ、7割の自治会が「後継者不足（70.0%）」を挙げています。

【出典：平成30年7月 自治会活動に関するアンケート調査結果】

▼自治会が抱える問題

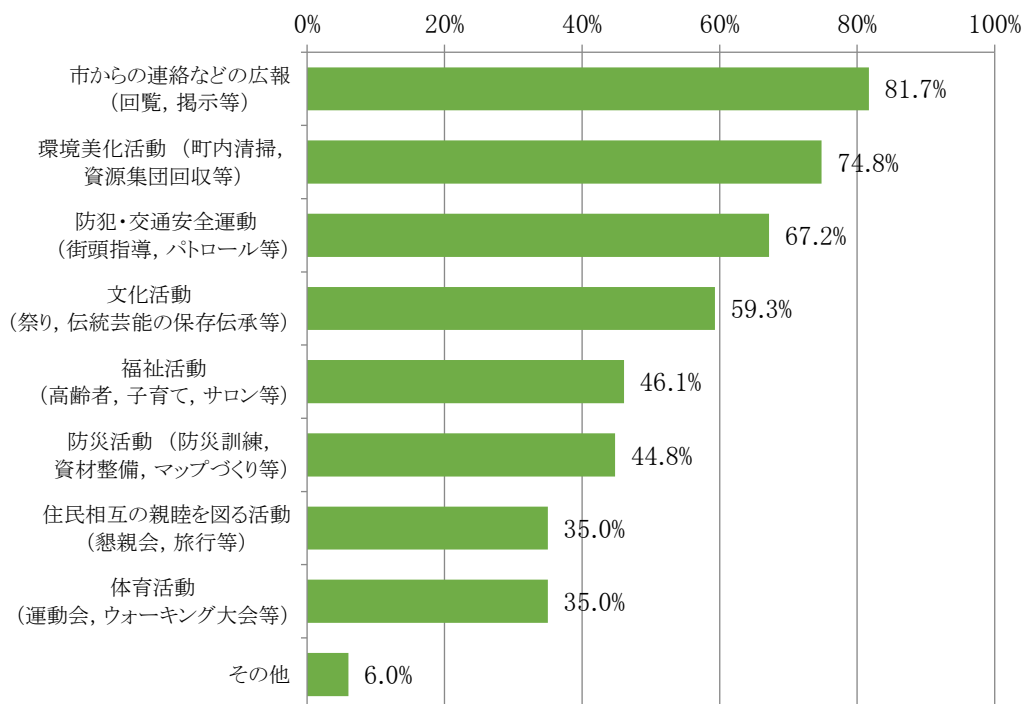


ウ 自治会活動

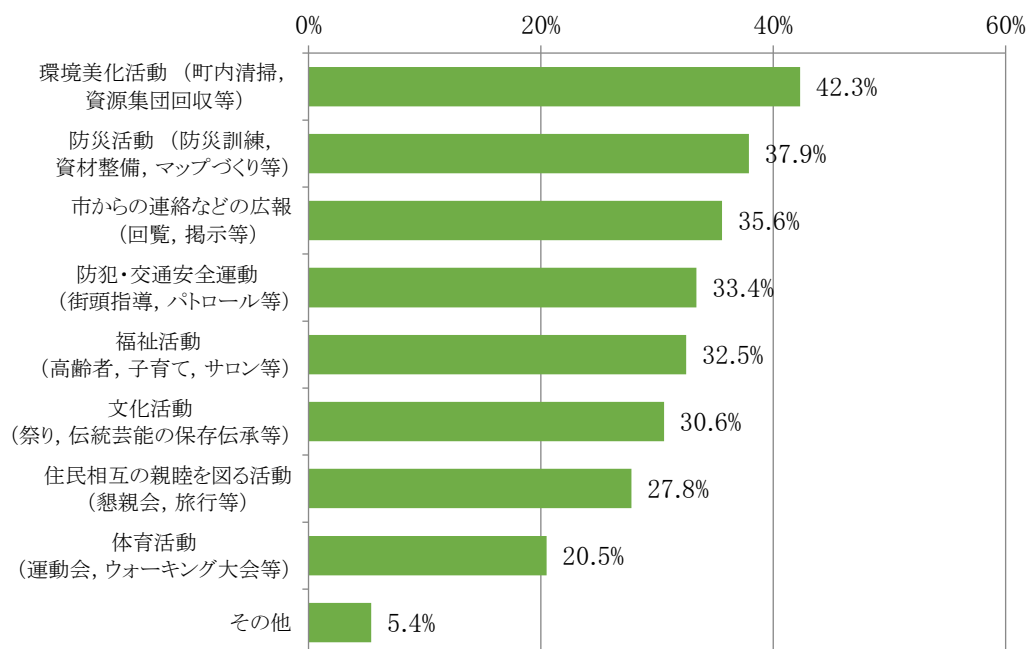
現在自治会で力を入れている活動として、「市（市役所）からの連絡などの広報（81.7%）」、「環境美化活動（74.8%）」、「防犯・交通安全運動（67.2%）」を挙げる自治会が多く、今後力を入れたい活動は「環境美化活動（42.3%）」、「防災活動（37.9%）」、「市（市役所）からの連絡などの広報（35.6%）」が多くなっています。

【出典：令和2年3月 第4次呉市市民協働推進基本計画】

▼現在、自治会で力を入れている活動（複数回答可）



▼今後、自治会で力を入れたい活動（複数回答可）



◆課題・問題点について（自由記入欄）

○地域の人材問題

課 題	内 容
後継者不足	・自治会役員などの高齢化，後継者不足
未加入者増	・自治会未加入者の増加（どのようにして未加入者を取り込むか）
他団体との連携不足	・外部団体や企業等との連携不足

○市役所からの依頼による地域への負担増

課 題	内 容
配布物	・市政だより等配布物の多さ（各戸配布など配布物が増量，配布する役員や班長の負担増）
募金徴収	・公衆衛生推進協議会・日本赤十字社などの募金など各戸を訪問して徴収する負担や，自治会未加入者との不公平感
補助金等手続き	・補助金交付金の申請について（申請や報告作業が複雑かつ煩雑）
役員の充て職	・充て職の負担（役員が一人で何役も請け負っている）
参加協力	・イベント等への参加協力（要請）が多い
地域格差	・まちづくり委員会（事務局）の中央地域と市民センターのある地域との格差

○市役所からの支援

課 題	内 容
財源（補助金）	・市役所からの補助金が少ない
地域への職員参加	・市役所職員の地域行事等への参加が少ない
連絡区のあり方の検討	・自治会との違いがあいまい

【出典：平成30年7月 自治会活動に関するアンケート調査結果】

3 これからの自治会運営のためのヒント集

(1) 自治会活動の意味を説明するためのヒント

自治会に加入する意味を尋ねられて、説明の仕方に困っている

自治会を運営されている皆さまは、地域の方から「そもそも自治会は必要なのか」、「何のためにあるのか」といった質問を、これまで何度か受けた経験があるのではないのでしょうか。

この章では、自治会の意義や活動を伝えるヒントをご紹介します。

ア 自治会の意味をどう伝えるか

■ 自治会はどうして地域に必要なのでしょうか？

地域における自治会の存在意義を、まとめてみました。

★ 地域のつながりの基盤

「遠くの親戚より、近くの他人」という言葉があります。困ったときに近所に声をかける相手や、相談できる人がいることは、安心できる暮らしにつながります。

地震や災害などの自然災害は突然発生します。何かあってから誰かに頼ったり、助けを求めたりするのはとても難しいものです。日頃から地域の交流を通して地域の方とつながる基盤となるのが自治会です。

また、近年、呉市に在住する外国人が増加し、地域住民と共生して暮らす社会づくりが求められています。

★ 安心・安全づくりの基盤

災害時に地域の安全を守るのは、市役所だけでは十分に対応することはできません。この点、地域の実情を知っている自治会は、地域のことを一番に考え、迅速に対応することができます。

子どもや高齢者の見守りやパトロールにより、犯罪や事故を防いだ例もあります。

★ 地域に対する愛着を高める基盤

地域の方同士でイベントなど共通の体験を共有することで、人間関係が形成しやすくなり、生活をより充実させることにつながります。子どもたちにとっては、幅広い世代の地域の方々と触れ合うことで、社会性を育む機会にもなります。また、そのような経験を通して、地域への愛着も生まれ、自分の住む地域を良くしたいと考える方も増え、生活環境の維持・改善への活動に発展することが期待されます。

★ 地域の方と市役所をつなぐ基盤

地域の方が生活で困った際に、個人で市役所へ直接相談する場合でも、市役所は相談者に寄り添い丁寧に対応するよう努めています。自治会は、市役所や各種機関と日頃から連携しており、相談先をピンポイントで案内できるなど、住民の負担軽減と市役所や各種機関を効率的につなぐ役割を果たしています。

■ 自治会に入ること、どのような意味があるのでしょうか？

自治会に入会されていない方や、入っていても日頃の活動に参加していない方から、「自治会に入る意味は何？」「入って何をもらえるの？」と質問された時の回答例などをまとめてみました。

★ 身近な地域の関係づくり

地域の方同士であいさつを交わす関係をつくるきっかけができます。さらに、活動を通して地域に顔見知りが増えれば、地域のことを知りたいとき、困りごとを相談したいときに、声かけできる方がすぐに思い浮かぶようになります。

★ 困りごとの解決

自治会活動に参加することで、自分の状況を地域の方に知ってもらえ、困ったときには地域の方が手を差し伸べやすくなります。また、困りごとを個人で市役所などへ相談することも可能ですが、個人や家庭で解決できないような困りごとを自治会内で解決したり（共助）、自治会を通じて市役所へ伝えることで解決に導くこともできます。

★ 身近な地域の情報を入手

普段からスマートフォン等を利用していない又は使い慣れていない方にとっては、身近な地域情報や地域の課題などをインターネットから入手することには難しい場合があります。自治会に入会することで、回覧板などにより地域ごとの細かい情報を、より一層得やすくなります。

★ 行事（イベント）を通じた地域参加のきっかけづくり

普段の生活で地域との接点を持ちたくても持てない方にとって、行事（イベント）への参加は地域とつながりを持つ一つのきっかけとなります。行事（イベント）を通して顔見知りを増やしていくことで、助け合いの関係が広がります。

★ 防災・防犯

災害対策、防犯活動、子どもの通学時の安全対策などは、一人で気をつけていても限界があります。自治会に入ることで、ネットワークができ、地域を守る活動や防災対策を充実させることもできるようになります。

★ 個人では難しいことの実現

地域には防犯灯や防犯カメラ、ごみステーションや災害時協力井戸など、安心・安全や環境衛生のインフラが整っていますが、個人で使いこなすこと、維持・管理することは困難です。また、児童や認知症高齢者の見守りなど、地域に役立つ活動は個人では実現しづらいものです。自治会の力を借りれば、特に災害時など、市役所からの支援が間に合わない時に、助け合い活動が行いやすくなります。

★ 外国人と地域との関係づくり

外国の方とは言語が異なることから、会話自体も敬遠しがちですが、外国人も地域への参加に興味を持たれている方もおられます。地域で一緒に暮らしていくには、簡単なコミュニケーションから始め、共生していける地域づくりをしていきましょう。

(2) 誰もが参加しやすく持続可能な自治会となるためのヒント

自治会活動の担い手を増やすために、どうしたらいいか困っている

少子高齢化や共働き家庭の増加など、地域住民のライフスタイルは多様化し、従来の自治会活動では参加しづらい人も増えています。

この章では、誰もが参加しやすく持続可能な自治会となるために、これまでの自治会活動を見直し、自治会の負担軽減・役員等の担い手確保・自治会活動に参加を促す方法などに対する、取組事例をご紹介します。

イ 自治会の負担を軽減するには



ワークショップで出た意見

- ☆意見①・・・職務の見直し
- ☆意見②・・・会議の回数・開催時間の見直し
- ☆意見③・・・集金方法の簡素化



運営の工夫・アイデア

- ☆工夫①・・・活動内容を見直す

自治会の活動は一つ一つに意味があるものですが、時代の変化により、負担が大きくなっているもの、必要性が小さくなっているものがあります。活動内容の必要性や優先順位を見直し、場合によっては、活動の回数を減らす、運営が難しいものは止めるという判断も必要なのではないのでしょうか。



市内自治会の取組



自治会組織のスリム化

常任幹事の任期を2年から1年に減らした。
年間5回ある寄付金集めを町費の集金と一緒にし、年に1度にした。
会員の減少に伴い、班の数を減らし、幹事の数を減らした。
新旧交代の幹事会などを開催し、引き継ぎやすい、わかりやすい工夫をしている。
各班に自治会ケースや回覧板、回覧板を入れるビニールケースを準備した。

第4地区 西鹿田二丁目（下）自治会



集金方法の簡素化

会費や募金など年間何回も募金をする方法を廃止して、年間の費用を毎年5月にまとめて各班長宅へ各会員が決められた日時に持参することにした。

これにより班長の都合の良い日時（3日間）を事前に知らせることで、互いに無駄な行動が避けられ、大変好評で役員の負担が大きく削減された。

【方法】

- ・班長が次の①②の文書と封筒（集金袋）を各自治会員の家に配布（ポスティング）
- ・自治会員は、会費等のお金と②の紙を封筒に入れ、班長の在宅時に班長宅に持参

【効果】

- ・年間恒例のものを、一括で回収できる。
- ・自治会員が不在でも、班長が何度も訪問しなくてよい。
- ・対面せずに済むため、新型コロナ感染対策になる。

①

自治会費・募金・寄進の一括支払いのお願い

班長の負担軽減のため実施しています「自治会費・募金・寄進」の1年分一括支払は新型コロナの関係で遅れましたが、主旨をご理解いただき、ご協力戴きますようお願いいたします。自治会長

《回収の流れ》

班長より集金袋を届ける ⇒ 支払金額明記し持参袋へ ⇒ 班長宅へ持参

※班長様の **在宅日時を確認**し持参していただきますようお願いいたします

②

《令和2年度 自治会費・募金・寄進の持参袋》

※右記の日時に在宅して ご協力をお願いします 班長	6月 日() 時～ 時 6月 日() 時～ 時 6月 日() 時～ 時	自治会費・募金・寄進 《令和2年度支払控》
項 目	金額記入の上 6月10日迄に	支払明細書
自治会費(月500円)	6,000 円	自治会費 円
赤十字募金	500 円	赤十字募金 円
社会福祉募金	200 円	社会福祉募金 円
高尾神社寄進	500 円	高尾神社寄進 円
赤い羽根共同募金	300 円	赤い羽根募金 円
年末愛の運動	(自治会より) 0 円	募金・寄進は 要望金額で すが、温かいご支援を戴き ますようお願いいたします。
体育協会費助金	(自治会より) 0 円	
健康感謝募金	(自治連より) 0 円	
支払合計	7,500 円	支払合計 円
※班長までご持参いただきますようお願いいたします。		◎上記金額を受け取りました
	支払者名	月 日 班長名

役員の役割を軽減

役員の役割を極力軽減し誰にでもできる仕組みに変え、全くクレームがなくなつた。

【役員の役割】

- ①月1回の役員会に参加
- ②戸別配布物月2回に限定
- ③会費、募金等の回収訪問は全て止めて自宅で取りまとめ
- ④戸別への連絡は、携帯電話のSMS（ショートメッセージサービス）を利用
- ⑤歩行困難な方は役員を退会
- ⑥班長は1年、ブロック長は2年の輪番制

昭和地区 大道田自治会

ウ 次の役員を見つけるには



ワークショップで出た意見

- ☆意見①・・・職務の見直し（役員の任期・人数）
- ☆意見②・・・会議の回数・開催時間の見直し
- ☆意見③・・・役員・班長の引き受けが難しい時（高齢・介護・子育て）の免除制度を設ける
- ☆意見④・・・誰もが分かりやすい「マニュアル」の作成
- ☆意見⑤・・・年齢別に役員を分ける
- ☆意見⑥・・・相談できる体制を整える（相談役の設定、前役員が補佐する）
- ☆意見⑦・・・役員にメリットを付与する



運営の工夫・アイデア

☆工夫①・・・任期を定める

役割に任期を定めることで、引き受けやすくしてはどうでしょうか。

☆工夫②・・・段階的に役割を担ってもらう

最初は、日ごろから声かけを行い、イベントなどを手伝ってもらうところから始め、内容や事務量などを理解しながら取り組んでもらってはいかがでしょうか。内容を把握している方が一緒になって取り組むことも重要なポイントです。

☆工夫③・・・みんなで分担する

職務を整理し、必要な役割を分担して活動を行うことにより、一人一人に係る負担を軽減することも重要なポイントです。また、役員の高齢化を防ぎ、自治会活動を継続していくために、年齢層ごとに役員を設ける（若者・現役世代は、休日の行事運営担当役員）などの工夫も有効です。

☆工夫④・・・「マニュアル」の作成

仕事内容を誰もが分かりやすくマニュアル化することで、役員の役割・仕事内容・スケジュールなどを十分に把握でき、引き継ぎも安心して行えます。また、役員だけでなく、班長などのマニュアルもあると引き受けてもらいやすくなります。



市内自治会の取組



役員の任期を決め、役員経験者がサポートする取組 ①

役員の任期は1年間と決めている。18の班がそれぞれ話し合い（立候補、輪番制等）で班長を選出し、その18人で役員の任に当たっている。「1年間なら、なんとか…」と引き受ける人が多い。

役員経験者が、相談役や顧問として、自治会活動の継承をサポートしている。

安浦地区 安浦町中央ハイツ自治会



役員の任期を決め、役員経験者がサポートする取組 ②

役員の任期を「2年」と決め、会長については任期満了後も「相談役」として2年間残留し、各役員をサポートすることでスムーズな交代ができています。

安浦地区 安浦町向野原自治会



若い世代など各世代に役員になってもらう取組

自治会活動を継続していくために、特に若い世代に役員になってもらうように働きかけ、現在30代1人・40代1人・50代2人・60代1人・70代2人・80代1人の各世代で役員を構成している。

仕事を持っている役員でも務められるようサポートし合い、役員会も現役で働いている2人に合わせ、休日に行うようにしている。

【役員への働きかけ】

- ①若い役員から、次の役員候補を挙げてもらう。
- ②幹事になった時の働きぶりをチェックしておく。
- ③まずは軽微な仕事を頼む。
- ④普段から話しやすい雰囲気をつくる。

第4地区 西鹿田二丁目（下）自治会



マニュアルを作成

自治会長の役割について、マニュアル化して引き継いでいる。

安浦地区 安浦町内海11区自治会

エ ライフスタイルが多様化する中、自治会活動をするには



ワークショップで出た意見

☆意見①・・・会議の回数・開催方法・開催時間の見直し

☆意見②・・・役員・班長の引き受けが難しい時（高齢・介護・子育て）の免除制度を設ける



運営の工夫・アイデア

☆工夫①・・・活動の時間を工夫する

自治会活動に関心があっても、時間が合わない方もいます。大切な会議は、多様なライフスタイルの方が参加しやすい時間帯（例えば、土曜日の午前中）に設定するなどの工夫も必要です。また、休日の行事（イベント）運営のみを担当する役割を設けるなど、多くの方が活動に参加できる工夫をしてはどうでしょうか。

☆工夫②・・・ライフスタイルの違う各世代に寄り添う

活動全般に参加するのは難しくても、お祭り、清掃、子ども向けの行事（イベント）など一つの行事（イベント）への参加でもウエルカムな雰囲気づくりをしてはどうでしょうか。

また、お歳を召した方から「体調がすぐれず何もお手伝いできない。他の方に迷惑をかけたくないので自治会を退会したい。」と自治会を退会された例もあります。そのような方には、本人の意向を確認し、可能な範囲で活動いただくなど、配慮することも大切です。



市内自治会の取組



自治会活動に参加しやすい世代向けの行事を実施

定年退職後も仕事をする人や、若い世代は共働きする人が増加するなどライフスタイルが多様化する中、自治会活動に参加しやすい行事を心がけ、子育て世代向け、子ども向け、高齢者向けの行事をして、町内の顔が見える関係づくりをしている。

第1地区 宮原13丁目自治会



本人意向により75歳以上の世帯は班長免除

日中、仕事のため不在の役員もいるため、災害時等の緊急連絡先として、自治会長だけでなく、在宅及び緊急出動可能な役員の連絡先を自治会報に記載し、周知している。

75歳以上の世帯は（本人の意向を確認の上）班長を免除すること、美化の日の清掃活動に参加できない事情がある場合は各班で配慮することなど、世帯の実情を踏まえて活動することを確認している。

安浦地区 安浦町中央ハイツ自治会



班長や当番の免除

高齢者や病気の方などは、班長や月当番を免除している。

安浦地区 安浦町内海11区自治会



会議の回数・日時を配慮

自治会員に配慮するため、これまで毎月（年12回）行っていた会議を年6回に削減。日時については、毎月15日の19時30分から固定開催していたが、地区自治連定例会後の日曜日の8時30分からに改めた。

また、現役世代でも役員が努められるよう、後継者のために会長の職務内容を整理した。

昭和地区 栃原町自治会

才 定年退職した人に自治会活動へ参加してもらいたい



ワークショップで出た意見

☆意見①・・・魅力的で楽しい自治会活動を実施

(例：趣味の会・いきいきサロン・茶話会・講演会・ウォーキングなど)

☆意見②・・・親しい人に誘われたら参加する

☆意見③・・・お試し期間を設ける



運営の工夫・アイデア

☆工夫①・・・事前に話し合う機会をつくる

自治会の運営については、人によって様々な考え方を持っています。最初の段階で自治会運営の考え方を少人数で話し合うような機会を設けることで、理解を深めてもらうことも大切です。

☆工夫②・・・自治会運営の一部を「お試し」で手伝ってもらう

初めて自治会に関わる時は、うまくやっていけるか、負担が大きくないかなど、誰もが不安を感じるものです。まずは、活動の一部を「お試し」で手伝ってもらうなどすれば、段階的に参加しやすくなるのではないのでしょうか。

☆工夫③・・・趣味の会など、退職された方との接点をつくる

まち歩き、カラオケ、料理教室など、趣味の仲間で集えるイベントを企画し、抵抗なく参加できる仕組みをつくってはいかがでしょうか。また、そのような活動をしている他の自治会と連携することで、地域のつながりが更に広がります。



市内自治会の取組



退職予定者に事前相談

2年先の定年退職予定者に前もって「役員を依頼すること」を相談し、一緒になって自治会を盛り上げていこうと伝えている。

安浦地区 安浦町向野原自治会

【呉市以外での取組】



趣味で集まる場（サロン）の立上げ

同じ趣味の方が集い、交流を深め、広く仲間を集める、趣味のネットワーク会を作っている。仲間同士で「趣味のサロン」を立ち上げたい人の支援や、発表の場を提供する「趣味の作品展」を開催している。現在、折り紙、布絵、手作り雑貨など複数のサロンが自主的に活動している。

東京都 練馬区

カ 若い世代・子育て世代に自治会活動へ参加してもらいたい



ワークショップで出た意見

☆**意見①**・・・子ども（未就学児）と一緒に参加できる自治会活動

（例：お祭り・スポーツ・子ども用品交換会・自然観察会など）

☆**意見②**・・・子どもが気軽に集まれる場所があればうれしい

（例：放課後や夏休みの託児・地域の方が学習や地域の歴史などを教えてくれる教室など）

☆**意見③**・・・自治会活動に参加する時には、地域の方が子どもを見てくれる場（託児）があれば参加しやすい



運営の工夫・アイデア

☆**工夫①**・・・子ども向けイベントや地域ならではのイベントを企画する

自治会の行事に、子ども・若者向けのプログラム（ゲームなど）を企画する。例えば、地元の農家の方に依頼し農業体験に親子で参加してもらい、お祭りに若い世代の参加を促すなど、地域ならではのイベントを企画するなど、若い世代・子育て世代に参加を促してはいかがでしょうか。

☆**工夫②**・・・学校やPTAなど子育て世代の関係のある団体などつながりをつくる

ラジオ体操や交通安全運動に学校やPTAと協力して参加を呼びかける。お祭りなど特色のある地域活動を、学校の総合学習の時間に学んでもらうなど、子育て世代の所属している団体と接点を設け、自治会活動に関心を持ってもらってはいかがでしょうか。



市内自治会の取組



夏祭りの開催

以前は、バス旅行を実施していたが、参加者の減少と参加メンバーが一部の高齢者に限られてきたことから、全世代が集える行事として夏祭りを企画した。

最初は、借り物の備品調達や準備・後片付けに若い力が不可欠のため、平原神社祭礼青年部や子供会の父母に声掛けをしてアルコールを飲みながらの話し合いを実施した。そこで出た意見を否定することなく前向きに検討することで、今では中学校のブラスバンドの演奏や、保育園児の樽太鼓やバンド演奏等のアトラクション、焼きそば・ポテトフライ・かき氷・各種飲み物を提供する出店、子供が企画したブースなど、賑やかな夏祭りが実施でき、年々内容も充実してきた。

この夏祭りの実施を契機に、若い世代は仕事と両立できる範囲で、自主防災活動においては災害時避難協力隊として、自治会活動においては青年部として協力が得られるようになっている。

第4地区 平原町自治会



「若人の会」を発足

高齢者が55%を超え、若い人たちの出番を作らないと自治会活動が危ぶまれるとの思いで、一昨年若い人の家族全員を対象に、互いに顔見知りになり、町内に住んで良かった！自治会活性化の引き金になればと思い「若人の会」を発足した。

人は食を通して地域コミュニティを活性化することが可能であることを知り、一昨年は町内の公園を利用しバーベキューなどを囲んでのイベントを実施した。

昭和地区 大道田自治会

(3) 自治会への入会を促す動機づけ・魅力づくりと自治会活動の有効的なPR方法のヒント

自治会の加入者を増やすために、どうしたらいいか困っている

地域に住んでいても、地域の人と接点を持たず、地域の活動や自治会に加入していない人もいます。

自治会側の「自治会に加入してほしい」との思いとは逆に、加入していない人から見ると、自治会活動が見えにくいことがあります。まずは、地域の中で接点を設け、新たに転入してきた人などが参加しやすいきっかけをつくることから始めてはいかがでしょうか。

この章では、各場面に応じた自治会での入会を促す動機づけ・魅力づくりに対する取組事例をご紹介します。

キ 新しく引っ越してきた人に自治会に入会してもらいたい



ワークショップで出た意見

☆**意見①**・・・自治会の活動内容等をチラシ・SNSなどで分かりやすく伝える

◇お伝えしたら良い内容◇

- ・自治会は何をしているの
- ・年間イベント情報（魅力ある取組）
- ・生活に関係する「防災・防犯」「ごみステーション・防犯灯の管理」などのこと
- ・会費の使い道
- ・入会するメリット・デメリット

☆**意見②**・・・お試し入会期間をつくる

☆**意見③**・・・同世代の方が訪問し案内をした方が入会してもらいやすい



運営の工夫・アイデア

☆**工夫①**・・・声かけ担当を決めておく

地域に転居してきた方への声かけ担当を決めておきます。引っ越してきた方の中には、地域のことが分からず不安に感じている方もいます。訪問時には、相手の不安や警戒感を和らげるため、人数や人選に気を使いましょう。女性や同世代の方が加わると、話がはずみ、自治会への加入につながりやすくなるのではないのでしょうか。

☆**工夫②**・・・お渡しする書類や声かけの内容を準備しておく

転居してきた方へお渡しする書類や声かけする内容をあらかじめ準備し、案内をするメンバーで共有します。お渡しする「加入セット」として、案内チラシ・行事一覧・申込用紙をまとめておくとスムーズに案内できます。また、「自治会は何をしているの？」などの、よくある質問に対する回答を用意しておくことで、スムーズに答えることができ、信頼も得られるのではないのでしょうか。



市内自治会の取組



複数名で訪問し加入促進

新しく地区内に引っ越してきた方、住宅購入により入居された方には地区班の班長と近隣住民が訪問し、加入促進している。

加入された場合、会長等が必要物（例えばゴミカレンダー等）を持参し、自治会行事への参加をお願いしている。

天応地区 天応町大浜自治会



チラシの配布

チラシを作成し、新しく引っ越してきた人に配付し、加入促進を行っている。

川尻町西部3地区自治会では

あなたの加入を お待ちしております

自治会は当たり前のようにも思える町の安全や美観を支えてくれる重要な存在です。よりよい生活環境を実現し、自分たちの子供や孫に譲れる『ふるさと』を残していきましょう。私たちの住んでいる地域を快適で住みよいまちにするために自治会は日々活動しています

例えば、夜の道を明るく照らす防犯灯の維持・管理、子どもたちが安全に通学できるような見守り活動、ゴミステーションの清掃など。

また、地震や豪雨災害のような“もしも”の時に助け合うことができるよう、いろいろな活動を通じて日頃から親睦を深めています。あなたも自治会に加入して、一緒に楽しく活動していきませんか？

自治会では、このような活動を行っています

1 交通安全街頭指導

地域のみなさんが安心して暮らせるよう、交代で定期的を実施しています。



2 町内清掃活動・リサイクル活動

清潔で快適な環境づくりのため、歩道や公園などの清掃を行っています。



3 防災・防火訓練

災害が起こったときに迅速に対応できるように、防災・防火訓練を行っています。



4 夏祭り(毎年 山の日)

子供も大人も一緒に楽しめるひととき、住民同士の親睦を図り地域の活性化と絆を深めるため、さんさ踊り保存会、中学生ボランティアの協力を得開催しています。



【加入のお申込・お問い合わせは：各班長・役員・自治会長までお願いします】

川尻地区 川尻町西部3地区自治会

ク 既に住んでいて入会していない人に自治会に入会してもらいたい



ワークショップで出た意見

- ☆意見①・・・入会のタイミングを逃している方がいると思うので、再度案内する
- ☆意見②・・・お試し入会期間をつくる
- ☆意見③・・・同世代の方が訪問し案内をした方が入会してもらいやすい



運営の工夫・アイデア

- ☆工夫①・・・自治会のことを知ってもらう

自治会に加入していない方の中には、「入った方が良いかな」と思っている、「自治会が何をしているのか分からない」「加入することで、役割などを担わないといけないのではないか」「入り方が分からない」など不安に感じている方も多くいます。

不安を和らげるためにも、新しく引っ越してきた人と同様に、案内チラシ・行事一覧など（案内チラシに入会のメリット・年間行事・加入者の声などを入れると入会後のイメージがわかりやすい）を持参の上、継続的に訪問（人数や人選に気をつける）し、自治会のことを知ってもらうことで、自治会への加入につながりやすくなるのではないのでしょうか。

また、自治会活動のDVDを作成して配付することなども有効的です。

- ☆工夫②・・・外国人住民のために翻訳した入会案内を作成

自治会に加入していない方の中には、外国人住民の方もいらっしゃいます。地域を盛り上げるためにも外国人住民の入会も欠かせません。外国人住民のために、翻訳した入会案内を作成し自治会のことを知ってもらうことで、加入につながりやすくなるのではないのでしょうか。



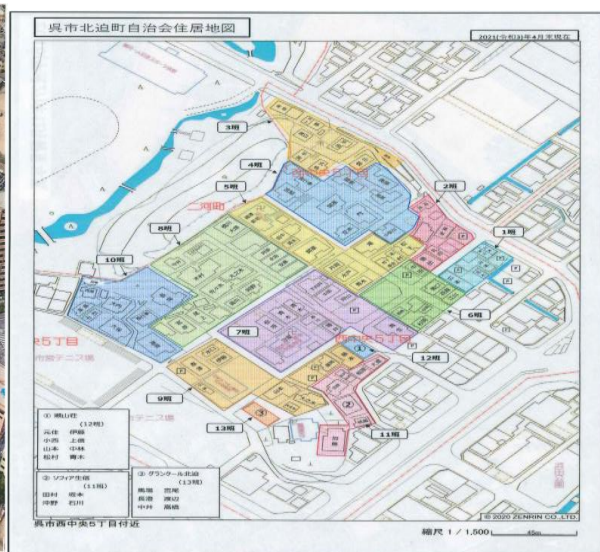
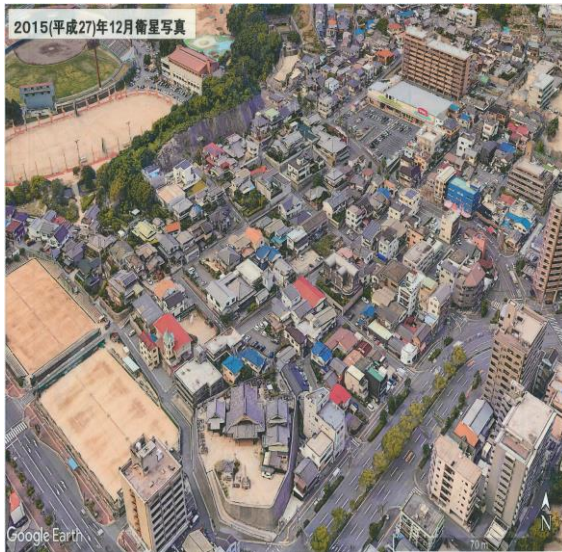
市内自治会の取組



自治会の住居地図の配布・更新

自治会内における班構成について、班長さんは自分の属する班についての認識はあるが、自治会全体での班の位置と世帯名が確認できないので、自治会全体の班構成と世帯名を認識してもらうために班ごとにカラーで色分けし、確認できるように毎年住居地図の更新と各世帯配布をしている。

自治会への加入促進につながるのと同時に、不審者侵入場所等の認識や災害時における発生箇所や避難場所等の情報を共有できるようになり、防犯・防災の意識向上と町内の挨拶の輪が更に広がっていくことに期待している。



第6地区 北迫町自治会

ケ マンションの住民に自治会に入会してもらいたい



ワークショップで出た意見

- ☆**意見①**・・・マンションの管理組合やアパートのオーナーと連携する
(自治会とマンションの管理組合の違いを説明する)
- ☆**意見②**・・・マンションの掲示板や回覧に常に自治会への入会方法などのお知らせを掲載
- ☆**意見③**・・・お試し入会期間をつくる
- ☆**意見④**・・・入会していなくても参加可能なイベントを行い入会につなげる
- ☆**意見⑤**・・・マンションの役員と重ならないように配慮する
- ☆**意見⑥**・・・学校の配付物にチラシを入れてもらうなど、子どもを通じてアピールする



運営の工夫・アイデア

☆**工夫①**・・・販売業者や管理組合と連携する

マンション住民が自治会に加入するきっかけとして、「マンション建設時の取り決め」「入居後に住民で話し合い」など、入居後間もない時期での加入決定が多数を占めます。マンション建設の早期段階から、マンションとの関係を持ちながら自治会への加入を勧めることで、自治会への加入につながりやすくなるのではないのでしょうか。

☆**工夫②**・・・地域の行事に参加してもらい、自治会に加入するきっかけをつくる

お祭りやイベントなどの行事にお試しで参加してもらい、自治会活動を肌で感じてもらうと地域の方との接点ができ、自治会に入会しやすくなるのではないのでしょうか。

また、子どもがいらっしゃる世帯などには、子ども会行事なども加入をアピールするポイントとなります。



市内自治会の取組



マンションの管理会社・組合と連携

当自治会には28世帯の自己所有のマンションが1棟あるが、入居者全員が自治会へ加入している。入れ替えがあった場合、管理会社又は組合が自治会への加入依頼をしているため、新規入居者は自治会へ加入する。

また、このマンションには集会所が無いため必要な時は自治会館を無償提供している。

天応地区 天応町大浜自治会

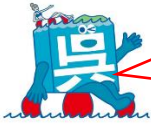


防災の取組や行事を紹介

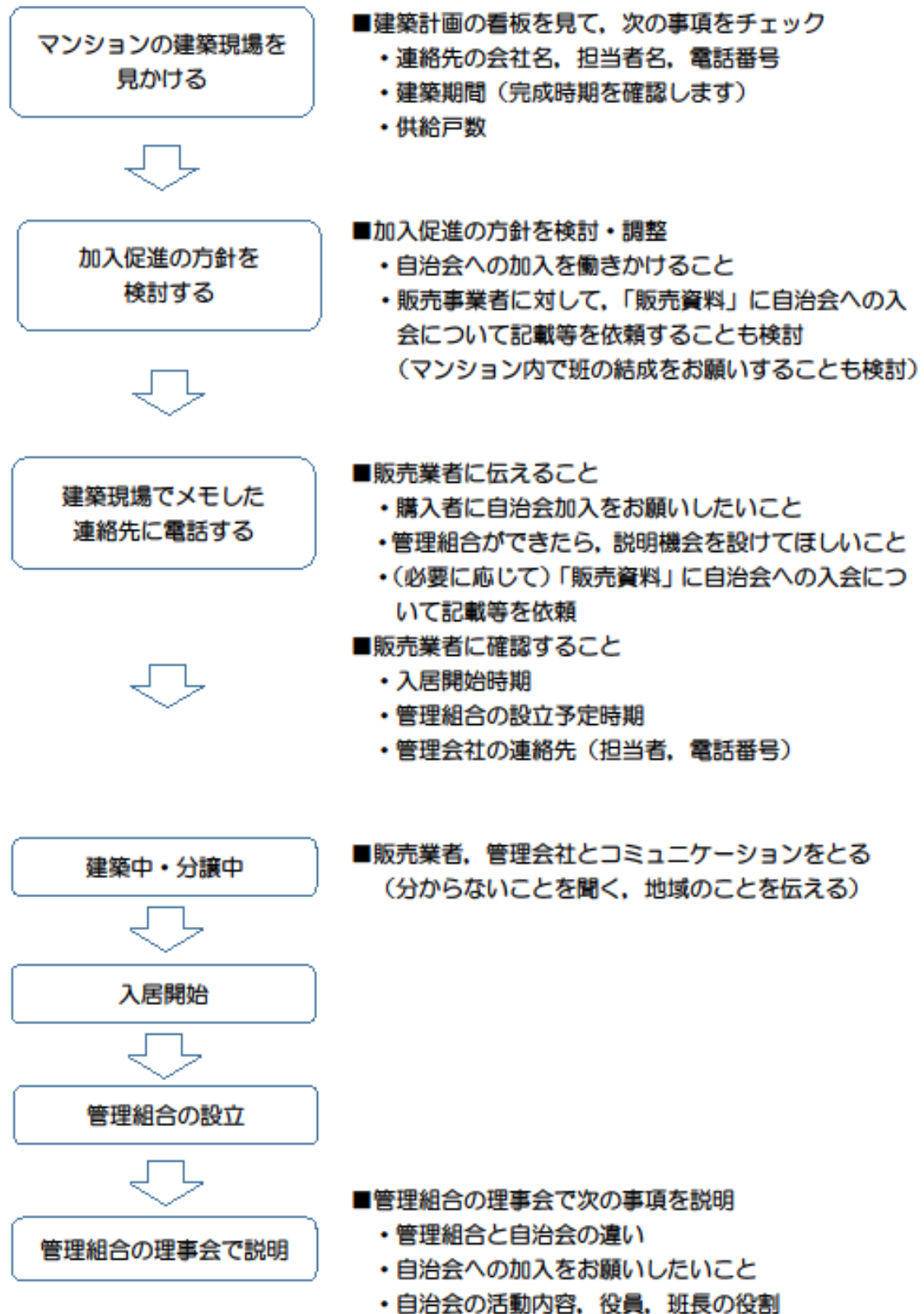
自治会で作成した災害用の備蓄品リストをマンションの入居者に対し配布し、防災に対する取組を紹介。

また、自治会で行う行事の内容や、自治会費の使い道を紹介し、安心して自治会に入会してもらえるようにしている。

第3地区 寺西町自治会



マンションにおける加入の流れ（例）



コ 行事（イベント）などの参加者を増やしたい



ワークショップで出た意見

- ☆**意見①**・・・参加者にメリット（プレゼントなど）を付与する
- ☆**意見②**・・・子どもを対象にした行事（イベント）を強化し家族を巻き込む
- ☆**意見③**・・・行事（イベント）に様々な団体が発表する場を設ける
- ☆**意見④**・・・入会していなくても参加できる行事（イベント）を行う
- ☆**意見⑤**・・・世代ごとに何人かリーダーをつくり行事（イベント）を活性化させる



運営の工夫・アイデア

☆**工夫①**・・・行事（イベント）を知ってもらう

行事に興味があっても、仕事や子育てで忙しい日常の中、「知らなかったため参加できなかった」という声を聞くことも少なくありません。また、どんな方が、どんな雰囲気で行事に参加しているのかなど、発信方法などを含めて、初めて参加する方にも伝わる工夫をしてみましょう。

☆**工夫②**・・・様々な世代が参加できる行事（イベント）を考える

年間行事を立てる際など、行事がある世代に偏ってないか、誰もが参加できる行事になっているかなどを確認し、様々な世代が参加でき、地域のコミュニティの場となる行事を考え実施することは重要なポイントです。

また、どんなイベントがあったら良いか住民の意見を調査し、希望を聞いてみるのも1つの手です。

☆**工夫③**・・・地域のことに関心を持ってもらう行事（イベント）を考える

自治会の大きな目的である「地域の中で助け合い、住みやすい地域をつくりたい」と思っているにもかかわらず、地域の方々が地域への関心を持っていないければ、なかなか進みません。

まずは、我がまちの歴史や地域の出来事を知ってもらうことから始め、地域のことに関心を持ってもらえるよう働きかけてはいかがでしょうか。

☆工夫④・・・中心となって行事（イベント）行う人材の選定

行事を実施する際には、中心となって行う方を事前に決めておくことも重要なポイントです。その方々を事前に決め、中心となって行事を行っている自治会もあります。



市内自治会の取組



夏祭り・清掃の実施

夏祭りは、あくまでも町内の全年代が集えるものにしたいと考え、幼児から小中学生とその親、高齢者が集って楽しい場となるように企画の工夫をしている。

町内の平原神社の清掃は、子供会と自治会とで毎月実施している。落ち葉の多い時期には子供会と自治会が交互に月に2回、少ない時期は月に1回一緒に清掃を行っている。無理強いすることなく自治会役員が率先して活動することで、少しずつ一般会員の参加が増えてきている。

第4地区 平原町自治会

サ 行事（イベント）などの有効的なPR方法を知りたい



ワークショップで出た意見

- ☆**意見①**・・・チラシとSNSを活用する
- ☆**意見②**・・・学校と連携し、学校からチラシを配付してもらう
- ☆**意見③**・・・駅など公共施設にチラシを置かせてもらう
- ☆**意見④**・・・広報物を作成する際の注意点
 - ・活字だけにならず、写真などを入れると伝わりやすい
 - ・いつ、何のためにしているのかを入れると参加の必要性を感じやすい
 - ・参加者の声を入れると行事のイメージがわきやすい
- ☆**意見⑤**・・・年間行事予定表が配られると、どの時期にどのような行事があるのか分かる
- ☆**意見⑥**・・・広報活動に詳しい人（若手）を活用する



運営の工夫・アイデア

- ☆**工夫①**・・・自治会活動の雰囲気イメージしやすくする

自治会活動を広報する際に、防災訓練、お祭りという行事名だけではなく、サブタイトルとして、「～災害時の避難経路や避難生活を実際に体験しよう～」、「～〇〇年の歴史のある神輿を担いで〇〇自治会の元気さを見てもらおう～」など、実施する理由やイメージのしやすいタイトルなどを工夫することで参加につながります。
- ☆**工夫②**・・・自治会便りや会報などを作成し、地域で情報共有する

自治会の情報を伝えるために、自治会活動の予定や内容をまとめたものを定期的に作成し、会員に情報提供するとともに、会員以外の方にも配布するなどして情報を共有する仕組みづくりをすることも重要なポイントです。



市内自治会の取組



自治会便りの作成①

毎月、自治会広報を発行している。

目的は、各部（環境衛生部等）の活動報告や、避難・高齢者みまもり事業のほか、諸々の事業について町民に自治会活動の理解を得る努力をしている。

石内自治会広報-38
令和3年6月19日

回覧
森川清掃・護岸樹木剪定伐採



5月19日地元有志による森川の清掃・樹木剪定・伐採を行いました。お陰様で森川の景観が良くなり、降雨の増水対策が出来ました。皆様ご苦労様でした！！

4丁目国道375号線の縁石完成



国道が川になり民家の水が流れ込んでいましたが縁石が完了しました。水が国道下に流れ落ちる被害は防げると想定されます。

石内自治会広報-39
令和3年7月17日

回覧
災害特集！！



左の写真は7月3日午前10時に御前崎伊豆宮で発生した土石流の写真です。避難しないで亡くなった人も多く今も捜索が続いています。

荒瀬川流域の皆様へお願い！！

災害復旧工事未着手の護岸 上流「藪が段」一帯中国電力による伐採

荒瀬川は平成20年7月号災害の復旧途上にあります。又、上流の「藪が段」一帯を中国電力が樹木伐採しております。ケリや豪雨・暴上時水害が発生したら、土石流の危険性があります。有志の皆様！ 緊急は一帯に大規模な避難勧告が出た場合必ず「緊急所、声」を掛け合って避難して下さい。

- レベル3の高齢者等避難準備で行動開始して下さい。
- レベル4では既に危険が迫っています。
- 避難の際は1・2部の軽拿及び米と薬は準備してください。
- 自助・共助が命を守ります。

自分の命は自分で守りましょう！！

広西北部地区 広町石内自治会



自治会便りの作成②

夏祭りや清掃活動など、イベントが行われる際にはチラシを作成し、広報を行っている。

第7回
夏祭



令和元年8月11日（祝/山の日・日）

会場 森文化会館 地下駐車場
時間 午後5時～8時

参加無料 雨天決行
みなさん そろってご参加ください！
協催 呉市川尻まちづくり委員会

回覧
中原公園清掃日

8月7日（土）
午前8時～午前10時

草取り・ボランティアで協力いただける方
近隣の方、お集まりください！

よろしくお祈りします

西部3地区自治会



川尻地区 川尻町西部3地区自治会



自治会便りの作成③

行事等を住民に伝えるPR方法として、畑区自治会独自の「畑区自治会便り」を作成し、自治会掲示板、回覧板を利用して周知を図っている。

地区内に高齢者が多く、長い文章は敬遠されがちなため、文章は短めにして写真でPRしている。この方法だと、分かりやすく関心をもっていただけるし、毎月発行している「自治会便り」を毎回楽しみにしている人が多くいる。

平成28年8月11日
畑区自治会だより
屋外掲示板設置

さる7月1日、畑3丁目周辺の世帯増加のため、旧奥内保育所前の水路沿いに、屋外掲示板を設置しました。畑区内では、6番目の屋外掲示板となります。屋外掲示板は、地域の様々な情報や、市政だよりを区民へお知らせするために設置されるもので、毎月自治会の班長さんを通して、回覧される自治会回覧板と同様に、情報手段としてなくてはならないものです。なお、この掲示板設置費用は、自治会費、員市からの屋外掲示板設置補助交付金により捻出しました。



令和2年5月吉日

畑区自治会だより
バス停に待合用縁台設置

畑区自治会では、畑1丁目畑バス停留所（呉駅前方面ゆき）に、バス待合用の縁台を設置しました。この縁台（下記の写真参照）は、人工木アルミで耐久性があり、雨に強い特長があります。縁台の長さ、180cm、幅38cm、高さ40cmで畑区自治会の文字を印字しました。バス待合の際は、この縁台をご利用ください。



令和2年11月吉日

畑区民の皆さま


畑 区 自 治 会

畑区自治会だより


来春花咲く
蓮華草（れんげそう）種まき開催

秋晴れの素晴らしい天気にも恵まれた11月1日（日）、今では見ることが少なくなった春の田んぼに咲く蓮華草の種まきの催しが、畑3丁目藤岡酒蔵そばの田んぼで行われました。この日は、タネの老舗タキイ種苗株式会社（京都市）から観賞用蓮華草の種を取り寄せ、「来年の春、田んぼ一面に蓮華草の花がいっぱい咲くように。」願いをこめて、参加された区民の皆様へ種をまいていただきました。種まきを楽しんでいる皆様の実顔が印象的でした。今の社会、地域の人のつながりが薄らいでいますが、畑区自治会では、これからもこのような催しの機会を増やし、地域の人の交流を広げてまいりますので、区民の皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

蓮華の種まきに参加された皆さまの集合写真



種まきの風景



(4) 地域や時代の変化に対応する自治会運営のヒント

地域や時代の変化に応じた自治会運営をするために、
どうしたらいいか困っている

自治会は、地域の全住民に開かれていて、地縁に基づく互助の中心を担っていますが、地域や時代の変化により、身近な地域の中での関係づくりが難しくなっています。

また、魅力的な自治会活動を行っていても、有効なPRを行わなければ自治会活動への参加者が増えませんし、地域のホットな情報を得たいという住民の期待にも応えられません。

この章では、防災・防犯の不安、高齢化の問題、地域行事の衰退、インターネット社会の進展など、地域や時代の変化に対応する自治会運営と自治会活動の有効的なPR方法に対する取組事例をご紹介します。

シ 災害や犯罪に対しての不安が高まる中、防災・防犯活動を強化したい



ワークショップで出た意見

- ☆意見①・・・災害時の対応について説明があれば安心する
- ☆意見②・・・災害時のマニュアルを作成
- ☆意見③・・・防災教室の開催
- ☆意見④・・・登下校時の見守りがあれば安心して子育てできる



運営の工夫・アイデア

- ☆工夫①・・・地域の課題を共有する

ハザードマップなどを利用し、地域の課題を整理し、地図などにまとめることで、地域の課題を見えやすくする活動を行っている自治会もあります。自分の住む地域では、どのような被害が出る可能性があるのかを具体的に示すことで、防災意識の向上につながります。

- ☆工夫②・・・自治会として行うことを決めておく

市役所、消防、警察などと話し合い、それぞれができること、カバーできないことを確認し、自治会として行うこと、行わないことを決めておきます。自治会にしかできないことが何か明確になり、防災訓練などの意義が共有しやすくなります。



市内自治会の取組



避難訓練の実施・避難意識の醸成

避難訓練を実施するとともに、「避難カード」を作成し全世帯に配布して、避難するタイミング、避難経路など確認し避難行動に役立てている。

また、避難意識の向上を目的に「土砂災害ハザードマップ」「津波ハザードマップ」をゴミステーションに掲示して危険箇所や避難ルートの確認に役立てている。

吉浦地区 落走区自治会



メール（SMS）の活用・「マイ・タイムライン」の作成

土砂災害警戒区域が自治会区域内にあるため、自治会活動に日常使用している「一斉メール（SMS：ショートメッセージサービス）」を利用し、土砂災害警戒区域内住宅、高齢者などの災害弱者の住宅をグループ分けして、必要に応じ「ほっと安心メール」で呼びかけをする仕組みを作っている。

携帯電話への送信のため、どこにいても連絡が可能で、特に地域の情報を知ることができるので自治会加入のメリットが見え、また、必要に応じて会話が出来るので、特に高齢者はメールを見て安心される。

また、自主防災会を立ち上げて、地域の安全・安心なまちづくりを目指して取り組んできたが、自然災害に対して、我が身を守る行動をとる人が少ないと感じ、2年前に「風水害マイ・タイムライン」を作成し「自分の命は自分で守る」を柱に取り組んでいる。

自治会員の皆様へ 豪雨災害の対応は大丈夫？ 大道田自主防災会

知ろう！ 緊急連絡！ 備えよう！

緊急連絡！
お盆休み期間を含むこの一週間は、停滞する秋雨前線の影響で大雨のおそれがあります。我が大道田地区は今後の雨量によってはダムからの越水や土砂災害が気になります。山側にお住まいの方は右記の前兆現象に注視し、安全行動を必ずとってください。又、携帯電話は手元に置いて何時でも電話やメールが確認できるようにお願いします。「自分の命は自分で守る」 会長 井上より

がけにひび割れができる

小石がバラバラ落ちてくる

「がけ崩れの前兆現象」

ダムの越水が心配

急に水がわきます

大道田自治会団地上のダムからの越水 2010.7.14撮影

越水でも土砂災害が害が高い

松木家(2車)前の治山ダムからの越水 次道田2号公園の治山ダムからの越水

集中豪雨から身を守る対策

- ◎集中豪雨前は空が真一暗になり、雷鳴や稲妻が起きる…雷対応は？
雷は家の中でも危ない。家の中では電気を消したり、電源を切ってもダメ！壁や外部に繋がっている器具から1m以上離れて部屋の真ん中で座って待つのが一番。公園等で逃げ場がない時は両手で耳を抑え頭を下げ地面にしゃがみ、パソコンなど大事な電子機器は外部から接続されている全ての外線をはずす
- ◎雨量が1時間に30mm、24時間で80mmを超えると落石、倒木、がけ崩れが起きる
・奥平谷線は1時間に40mm、24時間に120mmを超えると道路通行規制になる
・町内の山側は「がけ崩れ」の可能性が非常に高い。山側の部屋から離れる
- ◎ダムからの越水が濁りだしたら「土石流」又は「がけ崩れ」の可能性が高い
・山側の道路に止めてある車両は落石が起きてもおかしくない。必ず移動してください
・自然災害は想定を超えて起こります。まだ大丈夫は無い！早めの対応が大事です
- ◎周りで異常が起きたら直ぐに自治会長まで連絡を！
・井上の携帯電話(090-3370-9120)まで電話かメールで連絡をお願いします

自治会員の皆様へ 台風の備え 大道田自主防災会

台風の備え しましたか？大丈夫？

大災害になればなるほど行政は当てに出来ない・しない

緊急連絡！台風〇〇号が発生しました。広島県方面に向かっています。なんと！最大風速は秒速60mです。時速に直すと200kmになり新幹線並みの強風で電柱も倒れる可能性があります。すぐに備えをしてください。台風が接近したら絶対に外に出ないで、窓は鍵をかけて家の中の最も安全な場所で待機してください。「自分の命は自分で守る」 会長 井上より

非常時用の準備をする

物干し竿を下ろしておく 植木鉢、ゴミ箱等を片付ける 排水溝、雨水口の掃除

自転車等飛ばされないように固定 窓ガラスの補強 土のうで浸水対策

＜台風が接近したら＞

- ◎屋外での作業は絶対にやめよう
秒速20mでは立って歩けません。暴風や突風にあおられて転倒する危険があります
- ◎外出は控える
台風が接近している間は、大雨や強風による事故に巻き込まれないように、なるべく外へ出ないようにしてください。特に夜間は外出を控えてください。また車での避難には注意が必要です。20mm/h以上の降水量でワイパーは効かず、ブレーキが効かなくなる可能性があります
- ◎増水した道路は大変危険です
増水した用水路は道路との境目が分からなくなっていて、足を取られる恐れがあります

昭和地区 大道田自治会



夜回りの実施・防犯の旗立てによる啓発

夏休みと年末の2回、町内の子供と役員が中心になって、夜回りを行っている。防災・防犯の合言葉を叫びながら、夜町内を練り歩く。夜出回ることの少ない子供にとっても、わくわくする体験となっている。

さらに、昨今振り込め詐欺などの特殊詐欺が横行している中、町内各所に防犯の旗を立て、町民の意識を高めている。

第5地区 望地町自治会

ス 高齢化する地域で、高齢者の孤立・介護の問題に対応したい



ワークショップで出た意見

- ☆意見①・・・高齢者が安心して暮らし、いきいき楽しそうに活動している自治会があれば良い
- ☆意見②・・・高齢者等への声かけを強化してもらいたい
- ☆意見③・・・高齢者の方に地域の歴史などを地域の方に伝えてもらいたい



運営の工夫・アイデア

- ☆工夫①・・・地域の高齢者の状況を把握する

困ったときに頼るのも、助けるにも、顔見知りでないと難しいものです。見守り活動などを通して、一人暮らしの高齢者や介護をしている世帯と顔見知りになるようにしている自治会もあります。

- ☆工夫②・・・サロン活動などの居場所づくり

地域のサロン活動を通して、孤立を防ぎ、外出機会を増やす活動をしている自治会もあります。

- ☆工夫③・・・連絡手段を整える

高齢者の方でもスマートフォンを使える方が増えています。スマートフォン教室などを企画し、困ったときに気楽に連絡できる仕組みづくりもできるのではないのでしょうか。



市内自治会の取組



「ふれあいサロン」を運営

高齢者のために「ふれあいサロン」を運営（月1回・16年間継続中）
区民が主役！！有言実行！！のスローガンで頑張っている。

音戸地区 音戸町北隠渡区自治会



「回覧板」を要約し配布

高齢化が進み、回覧板を次に回すことが難しい人が増えており、その人には回覧板内容を要約したものを配付している。

第5地区 伏原町自治会



見守り活動

高齢者が孤独にならないよう、見守り隊29名でスタートし、声掛け・見守り活動を月2回行っている。緊急連絡装置の設置や、栄養失調で倒れた高齢者の救助などを見守り隊が行っている。

回覧 石内自治会広報-37 令和3年5月15日

特集「白糸みまもり事業」

石内地区は、高齢者の町です。
高齢者が安心して暮らせるにはどうしたら良いのか？
まず、高齢者が孤独にならないよう、支え合わなくては！
その為には、声掛け・見守り活動なら出来る！
こうして、見守り事業がスタートし2年が経過しました。

こんにちは、変わったことない？
コロナのワクチンは、予約せんとダメじゃけんね！
予約券が入ってないらうがね。コールセンターに電話で予約するんよ。
コロナ対策も有るらしいから、注意するんよ。

うん、まあまあ元気にしよったわ。
予約せんにや、ダメかいのうーどうすりや、ええかいのう？
よく見んかったから、知らんかったわ。
ありがと、教えてくれて。

このような会話をしながら、月2回、高齢者のお宅を訪問し、声掛け・見守りをしています。
世間話をしながら、詐欺・熊手などの情報提供や、行政への手紙などを民生委員さんに依頼して処理をしています。

☆☆☆ 町内の皆様にお願ひ！！ ☆☆☆
白糸みまもり事業では、見守られる人・見守る人を募集しています！
① 見守りを希望される高齢者の方は、速速なく「入会」してください。
② 見守り隊の「協力員」を募集しています。是非とも、力をお貸しください。

広西北部地区 広町石内自治会



「野菜市」の開催

地域の空き部屋を無償で使用させてもらい、近隣の生産者から野菜を仕入れ、有志の女性の協力で、月に2回「野菜市」を開催している。

立ち上げの時から呉市社会福祉協議会や包括支援センター、民生委員等と連携し、地域のお年寄りの孤立問題や、町内にお店が無い事による買い物問題の解消に役立っている。歩いて野菜市へ行き、野菜を買って近況を語り合い、お互いを気に掛ける貴重な場所であり、多くの人が繋がる活動として定着している。

買い物の前にみなさんで体操をしたり、室内でコーヒーとお菓子を提供し、買い物をした後にゆっくりくつろいで帰ってもらったりと、コミュニティの場となっている。

吉浦地区 落走区自治会

セ インターネット・SNSの利用者が増えている状況に対応したい



ワークショップで出た意見

- ☆意見①・・・ホームページを作成し活動内容を掲載すると多くの人に見てもらえる
- ☆意見②・・・若者世代・子育て世代・現役世代はSNSでの広報が有効的
- ☆意見③・・・会議をオンライン会議にすると子育て世代・若者世代でも参加しやすい



運営の工夫・アイデア

☆工夫①・・・メールやSNSを活用した情報発信

若者世代だけでなく、シニア世代もコミュニケーションツールとして、メールやSNSを利用する人が増えています。自治会の情報や活動風景などをSNSに投稿して共有することで、コミュニケーションの活性化を図ってみてはいかがでしょうか。

☆工夫②・・・ホームページによる情報発信

情報化社会の進展により、ホームページで自治会の情報や地域の情報を届けることも、有効な情報発信手段となっています。ただし、ホームページの作成には専門的な知識が必要になることから、専門的な知識を持っている外部の協力や、地域の若者に参画してもらうことなどが必要です。



市内自治会の取組



メール（SMS）の活用

防災情報から自治会活動の情報や地域での小さなできごとまで、自治会長のパソコンから会員の携帯へ一斉メール（SMS：ショートメッセージサービス）で日常的に情報発信している。

緊急時の連絡には素晴らしいシステムで、メンバーがどこにいても伝わり、自治会活動にはなくてはならないシステムになっている。事前にメンバーを分けることで、伝えたいメンバーに一斉で連絡をすることが可能で、事務局以外全く負担がかからず連絡できる。

昭和地区 大道田自治会

【呉市以外での取組】



ホームページで情報発信や受付を強化

掲示板や回覧板が中心だった広報活動を強化し、町会の活動を発信するために、町会のホームページを作成した。

ホームページには、町会活動やイベントの紹介に加えて、町会加入のメリット、町会長インタビュー、他の地域のイベントなども掲載している。

また、町会加入について、電話やメールでも受付できるようにしている。

Facebook を活用して、行事の様子などを情報発信

町会で Facebook ページを立ち上げ、日々の町会の行事（盆踊り、記念フェスティバル、防災活動、古紙回収活動等）の様子を情報発信している。

Twitter を活用して、行事の様子などを情報発信

町会の Twitter の公式アカウントから情報発信している。各行事の様子、参加者募集、防犯活動のお誘いに加え、行事開催報告は、ホームページの URL を掲載して誘導するようにしている。

東京都 練馬区




情報通信技術（ICT）を活用した情報発信

町内会活動や地域の情報をリアルタイムで住民のスマートフォンに届けたり、災害時の安否確認を支援する体制を整えた事例。

登録した住民のスマホ（ガラケーも可）に必要な情報が届き、役員は誰が読んだかも分かる仕組みになっている。


【スマートフォンアプリでできること】



スマートフォンでもっと便利に

- 📄 「電子回覧板」として利用できます
- 📄 お住まいの地域や市の情報が届きます
- 📄 簡単に情報の発信や閲覧ができます
- 📄 町内会イベントの出欠確認が簡単にできます
- 📄 町内会の方のみ閲覧可能です
- 📄 災害時の安否確認ができます

※未導入の町内会もありますのでご確認ください



（参考画面）

石川県 野々市市

ソ 地域で活発に活動している人や地域団体と連携を図りたい



ワークショップで出た意見

- ☆意見①・・・地域から課題を挙げてもらい、それに対し得意な分野の団体を派遣することで連携できる（自治会で行われていない部分の活動を地域団体が補う）
- ☆意見②・・・学校の生徒があいさつ運動をする、部活動で地域の行事に参加するなど連携できる



運営の工夫・アイデア

☆工夫①・・・地域団体との連携

地域活動に参加している人や地域団体と連携し、地域に密着した行事を企画している自治会もあります。こうした取組により、地域の活性化を図ってみてはいかがでしょうか。

☆工夫②・・・他の自治会等との連携

一つの自治会ではできないことでも、近隣の自治会や地区自治会連合会との連携で、できることが増えることがあります。他の自治会等と合同で行事等を行い、地域の活性化を図ることも重要です。



市内自治会の取組

★ 新組織を結成①

自治会長、副会長、体育部委員、防災委員、防犯委員ほか10名の構成委員で「地域協力部」を設立し、地域の広範囲の活動協力を担っている。

自治会腕章をし、他の役員と活動協力し自治会活動の啓発を進めている。

【活動例】

- ①体育行事の際にはテント、敷物、飲食物、人員の運搬を手伝う。
- ②町内一斉清掃の際には高齢者宅を中心に町内全てを支援する。
- ③祭り、納涼大会、さくら祭り等地域行事には進んで参加・協力する。
- ④防犯カメラを設置したので、防犯・防災には特に留意する。

警固屋地区 鍋山団地自治会



新組織を結成②

若者を中心とした20～40歳代の青壮年達が、「潮祭会」という組織を結成し、祭りやソフトボール大会等への参加に中心的役割を果たしている。

この団体には自治会から他団体と等しく助成金を交付し、自治会としての行事参加に積極的に関与してくれている。

天応地区 天応町大浜自治会



栃原盛上隊の活動

栃原町の竹内神社の近くの未利用地を、栃原自治会の管理の下、有志で立ち上げた栃原盛上隊が、誰もが遊べる地域の拠点として整備。

ヤギの飼育や休憩スペース、バーベキューコーナーなどを整備しているもので、多いときは、月に延べ400人の来場がある。

隣接する竹内神社は、江戸時代から続く歴史ある神社であり、その祭事を守ることに加え、まちの拠点となる空間を整備し、地区外からも人を呼び込み、さらに子どもたちが地域に誇りをもつことで、後継者の育成にもつながると考えられる。

昭和地区
キラキラ
発見隊
取材：きよみん編集部



今月のキラキラくん
「とちばらの郷」のヤギのワカくん
「竹内神社で生まれた栃原のアイドル」

月刊
まちで輝くあの子に会いたい!!
きよみんがゆく
no.30



子どもも大人も憧れるツリーハウスがあるよ!

みなさん、栃原のアイドル・ワカくんをご存知ですか？この秋、栃原町の竹内神社横「とちばらの郷」で生まれたヤギのワカくん。愛らしい仕草で若者男女を癒しています。お母さんとお父さんと一緒に仲良く暮らすこの場所は、栃原町にあるメンバーが立ち上げた「栃原盛上隊」のみなさんが森を開拓し作り上げた場所。竹内神社の参拝客がゆつくり座れるスペースをウッドデッキを作ったことがきっかけとなり、ブランコや遊具、BQエリアなど次々と新設されました。口コミでその魅力が広がり、休日になると家族連れが訪れる人気スポットとなりました。私たちの地元にも若い人たちが遊びに来てくれて、このまちが賑やかになることが嬉しいです。親子3世代の笑顔が集まる場所になればと、今後は自由広場も作る予定です！」と栃原自治会長であり、栃原盛上隊の結成メンバーでもある河端さん。江戸時代から続く、竹内神社の歴史を守るためにも、まちを楽しくするために、栃原盛上隊の活動は続きます。こんなステキな場所があったなんて！まさに里山の楽園。ワカくんに会いにお出かけしてみてくださいね。

昭和地区で
キラキラ輝く
あの子を取材



少年のような笑顔がとってもしステキな栃原盛上隊のみなさん。

現在も施設内に新たなスペースを作るべく手作業で工事中。



【昭和地区広報誌 きよみん通信 vol.57(2021年1月号)】

昭和地区 栃原町自治会

(5) 地域活性化につながる「魅力ある取組」や「好評であった行事」のご紹介

ここまで、市内自治会における様々な場面に応じた取組事例をご紹介してきました。この他にも、地域活性化につながる取組を多く行っている自治会があります。

この章では、市内各自治会がこれまで行った「魅力ある取組」や「好評であった行事」をご紹介します。

タ 自治会活動で「魅力ある取組」や「好評であった行事」を知りたい



ワークショップで出た意見

☆**意見①**・・・魅力のある楽しい活動があれば、自治会への入会や、行事（イベント）への参加を考える



運営の工夫・アイデア

☆**工夫①**・・・市内自治会の取組の活用

市内各自治会では、様々な「魅力ある取組」や「好評であった行事」を行っております。今後の活動の参考にしてみてもはいかがでしょうか。



市内自治会の取組

★ 地域の「安全・安心」を強化

集いの後の当たり前になっていた飲食や、5年毎に実施していた日帰り旅行を断ち切り、自治会の目的でもある「安全・安心」にその費用を充当し、「安全・安心」をメインに自治会の加入メリットが見えるようにしている。

- ①町内の掲示板に消火器設置
- ②自治会で購入し各家庭に簡易消火具を設置
- ③助成金を出して住宅火災警報器の全軒設置
- ④助成金を出して地震倒壊防止用金具の取り付け推進

昭和地区 大道田自治会

★ 夏祭り・リサイクル活動・清掃

夏祭り・・・年1回（山の日）に開催

リサイクル活動及びリサイクルトラック積荷作業・・・年2-4回活動

中原公園清掃・・・年4回程度

川尻地区 川尻町西部3地区自治会



グランドゴルフ大会・とんど祭り

【グランドゴルフ大会】

年に一度、グランドゴルフ同好会の協力を得て、幼児から大人まで参加する大会を開催している。日頃、接点の少ない年代の人たちが一緒にプレーし、親睦を深めている。

【とんど祭り】

毎年1月に郷土芸能愛好会の協力で、旧落走小学校の校庭で開催している。竹の切り出し、とんどの組み立て、飾りのはかま作り、児童が書いた習字等、多くの人に関わる伝統行事となっている。
当日は、甘酒、ぜんざいを振る舞い、地域から多くの人に参加し、とんどを囲み楽しい時間を過ごしている。

吉浦地区 落走区自治会



いきいきサロン

いきいきサロンとして年に数回イベントを行っている（手品・落語・日本舞踊など）が参加者も多く、好評である。

第5地区 西谷サンハイツ自治会



工夫をこらした総会・防災用品配布

毎年開催している総会を自治会構成員が顔を合わせる良い機会ととらえ、参加者にはお弁当を配布。総会終了後に心肺蘇生法・防災などの講習を行ったり、落語会を行ったりし、その後さらに懇親会を開催している。

自治会発足周年記念品として、これまでに火災報知器・簡易消火器・センサーLEDライトなどを各戸配布した。

第4地区 西鹿田二丁目（下）自治会



とんど祭り・日帰りバスツアー

とんど祭りを毎年の行事として実施することで、子供、老人の交流の場としている。

また、1年おきの日帰りバスツアーも実施し好評である。

第3地区 寺西町自治会

(6) 市内自治会の取組事例（これまでにご紹介した以外の事例）

(2) 誰もが参加しやすく持続可能な自治会となるためのヒント

イ 自治会の負担を軽減するには

自治会名	内 容
安浦町奥条自治会	<ul style="list-style-type: none"> ●役員会 →以前は毎月開催していたが、議題のない場合は休会とすることに変更 ●班長による集金業務 →自治会費・募金・日赤社費・社協会費等の集金をその都度していたが、集金業務軽減のため、年間一括払い（前払い）・半年払いを導入している（強制はしていないが、現状全会員が年間一括払いを行っている。）。 ●役員の兼職 →会長に対する充て職を会長以外の役員が兼職している

ウ 次の役員を見つけるには

自治会名	内 容
吉浦第4区自治会	<ul style="list-style-type: none"> ●広島県の指導を受けながら、吉浦第4区自治会→NPO法人→特例認定NPO法人（寄付税額控除団体）組織改編を進めようと動いている。 ●NPO法人の理事役員・社員の責任と権限は明確であり、意識・意欲・夢をもって運営することが可能。
明神町自治会	<ul style="list-style-type: none"> ●役員の任期は2年という規定としている。
倉橋町長谷区自治会	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会長を役員16名から年功序列で2年としていたが、任期を1年にし、現在4年目に入っている。自治会長経験者が増え、幅広い知識が吸収できて今後の自治会運営につながっている。
岩西区自治会	<ul style="list-style-type: none"> ●役員改選時（2年毎）や役員に欠員が生じた場合に、役員があらかじめ担い手を選出し、役員3～4名で選出した家を訪問し、自治会の取組などを説明し確保している。
芳井田団地自治会	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会内11班編成で、10部門12名の役員が1年おきに代わり、会長の宛て職部門を各役員にカバーしてもらっている。

自治会名	内 容
寺西町 自治会	●毎月1回の班長会を通じて、男女を問わず役員候補に声掛けをしてもらう。 ●できるだけ若い人（希望としては30代～40代だが実際は50代～60代）に、オブザーバー参加をお願いしている。
安浦町奥条 自治会	●自治会役員の任期を役員2年，班長1年と定めている。
白岳ハイツ 自治会	●役員の任期を2年で持ち回りと決めたことで，会員が皆で協力し合い無理のない範囲で，出来る役員を引き受けてくれる。
宮ヶ迫 自治会	●会員の協働意識を高めるため，会員の中から輪番制で地区幹事を任命し，その中より自治会役員を選出する制度としているが，近年会員の高齢化により役員選出が難しくなっているため，自治会員全体から選出できるように制度改革を検討中

エ ライフスタイルが多様化する中，自治会活動をするには

自治会名	内 容
	●取組事例で紹介

オ 定年退職した人に自治会活動へ参加してもらいたい

自治会名	内 容
音戸町 北隠渡区 自治会	●退職年齢が高く（70才以上），協力者が少ない。 多少高齢でも顔見知りの方に協力依頼している。

カ 若い世代・子育て世代に自治会活動へ参加してもらいたい

自治会名	内 容
	●取組事例で紹介

(3) 自治会への入会を促す動機づけ・魅力づくりと自治会活動の有効的なPR方法のヒント

キ 新しく引っ越してきた人に自治会に入会してもらいたい

自治会名	内 容
西谷 サンハイツ 自治会	●早めに訪問して加入を勧めており、今のところ加入を拒否する人はいない。
西鹿田 二丁目（下） 自治会	●幹事（難しい場合には会長・役員）が、自治会規約・ゴミ出しカレンダーなどを持参し自治会入会をお勧めしている。
伏原町 自治会	●入会案内のチラシを持って、会長・班長2名で訪問し、加入促進を行っている。

ク 既に住んでいて入会していない人に自治会に入会してもらいたい

自治会名	内 容
宮ヶ迫 自治会	●地区幹事が未加入のお宅を訪問し、共益費（自治会員が負担している防犯灯の維持管理費、ゴミステーションの維持管理費等）を会員同様に負担していただくよう依頼をするとともに、新規加入者募集のパンフレットを渡して勧誘活動をしている。

ケ マンションの住民に自治会に入会してもらいたい

自治会名	内 容
	●取組事例で紹介

コ 行事（イベント）などの参加者を増やしたい

自治会名	内 容
岩西区 自治会	●祭礼行事案内のチラシを作成し、自治会定例会時に幹事に説明し、その後各班に回覧し、参加者を募集する。

サ 行事（イベント）などの有効的なPR方法を知りたい

自治会名	内 容
大道田自治会	●来月の自治会活動や昭和地区のイベントなどを記載した「自治会スケジュール表」を毎月20日前後に各戸配布している。スケジュール表の下段には、自治会のスローガンである「健康」と「安心／安全」をテーマに掲載を続けていて、健康で安心安全なまちづくりの取組を継続している。また、町内の掲示板に健康ロゴを住民から募集し掲載している。
宮ヶ迫自治会	●自治会活動を内外にPRする為に、昭和地区の他の自治会同様に広報誌「宮ヶ迫だより」を発行している。
平原町自治会	●従来の「回覧」による情報伝達では、市役所からの回覧情報も多く、見ることなくスルーされることが多かった。そこで、行事やイベントに関する情報や、注意喚起が必要なものについては「日良波良便り」を作成し、全戸配布している。
栃原町自治会	●自治会の回覧板に、地域の行事（イベント）情報など自治会員に役に立つ情報を掲載した誌面を作成し回覧している。

(4) 地域や時代の変化に対応する自治会運営のヒント

シ 災害や犯罪に対しての不安が高まる中、防災・防犯活動を強化したい

自治会名	内 容
豊町沖友自治会	●市指定の避難所までは車での移動が必要で、途中で土砂災害を受けやすいので、平成29年より地域避難所を開設・運営して、避難行動をしやすくしている。
広町石内自治会	●災害には厳しい石内地区では、自主防災組織を結成して、毎年避難訓練・防災教室を開催して防災力を高めている。令和元年には避難訓練をNHKが取材、時論・公論で全国放送された。
倉橋町長谷区自治会	●自主防災組織を立ち上げ、高齢者の一人住まいの現状世帯状況資料の作成、帳票類による見える化を図り、各班長と情報を共有し、避難行動に役立てている。
寺西町自治会	●自治会で作成した災害用の備蓄品リストを配布している。
西鹿田二丁目（下）自治会	●毎年、町費の集金と同時に住民数の調査を行い、避難勧告などを行う自主防災会緊急連絡網を毎年更新し、総会資料に載せている。

ス 高齢化する地域で、高齢者の孤立・介護の問題に対応したい

自治会名	内 容
音戸町畑区 自治会	<p>●一人住まいの高齢者や、健康、歩行等に不安のある高齢者リストを畑区の町々別に作成し、パトロール方式で自治会役員始め、民生委員や、呉警察署畑駐在所署員も加わっていただき、約16名で毎月第3金曜日午後4時から6時にかけて前述の高齢者宅を訪問し、生活の中で不自由を感じていること、体調の変化の聴取や社会問題となっている詐欺等の相談にのり、孤立しがちな高齢者には、畑区で実施している高齢者向けのサロンへの参加を積極的に勧める等、高齢者とのふれあい交流を図っている。</p> <p>この取組は、地域の高齢者に大変喜ばれている。</p>
大道田 自治会	<p>●地域の課題に取り組むために「大道田まちづくり支援の会」を立ち上げ42名のメンバーで活動を始めた。</p> <p>団地の山側のダムからの越水が「がけ崩れ」を招く恐れがあるため、公園を中心に山の法面の雑木の伐採をして、新たに花木を植える活動を行い、併せて、公園内に花壇を設置して保育園の園児の憩いの場にする事で高齢者との集いの場をつくる取組を始めた。</p>
川尻町 西部1地区 自治会	<p>●地元自治会の安心安全を図るため、呉市社会福祉協議会、地元民生委員の協力により「～ながら運動（見守り隊）」の準備発足を行っている。</p>
宮原13丁目 自治会	<p>●月1回朝市を開催し、お年寄りや幼い子を連れた親子、子ども達まで集うので、短時間だがお互いの様子が見え、よい活動だと感じている。</p>

セ インターネット・SNSの利用者が増えている状況に対応したい

自治会名	内 容
	●取組事例で紹介

ソ 地域で活発に活動している人や団体と連携を図りたい

自治会名	内 容
	●取組事例で紹介

(5) 地域活性化につながる「魅力ある取組」や「好評であった行事」のご紹介

タ 自治会活動で「魅力ある取組」や「好評であった行事」を知りたい

自治会名	内 容
大道田 自治会	●毎月1回実施している自治会の会合は「大道田コミュニティ会議」と銘打って、自治会役員、民生委員、女性会、運動普及推進委員、交通安全指導員など地域の活動に携わっているすべての役員が参加しての会議を15年前から実施しているため、互いにすべての活動が見える協同体制が取れ、各部の主張がまかり通ってきた地域活動がスムーズに流れるようになった。

4 呉市住民自治組織あり方検討委員会（委員名簿）

50音順・敬称略

役職	氏名	所属団体	選出区分
	伊藤 美智代	ひまわり21 代表	市民公益活動関係団体
	隠村 誠二	呉市川尻まちづくり委員会 会長	市民公益活動関係団体
委員長	大藤 文夫	広島文化学園大学 名誉教授	学識経験者
	香川 裕子	くれサポートセンター くれシェンド 理事・事務局長	市民公益活動関係団体
副委員長	川畑 勝之	呉市自治会連合会 副会長	市民公益活動関係団体
	佐藤 光子	呉市女性連合会 会長 呉市赤十字奉仕団 委員長	市民公益活動関係団体
	田中 秀樹	呉市社会福祉協議会 次長兼地域福祉課長	関係団体
	土井脇 仁美	杭本なかよしひろば	市民公益活動関係団体
	中村 隆行	(特活)ひろしま NPOセンター 代表理事	アドバイザー
	橋本 清勇	広島国際大学 看護学部准教授	学識経験者
	山田 祐也	広島市立大学 学生	学生

呉市住民自治組織あり方検討事例集
～これからの自治会運営のためのヒント～

2022（令和4）年3月 発行

【作成】

呉市住民自治組織あり方検討委員会

【発行・問い合わせ】

呉市地域協働課

電話：0823-25-3501

